

全国学力・学習状況調査について

4月18日(火)に全国学力・学習状況調査が実施されます。全国学力・学習状況調査というのは、よくテレビのニュースなどでも取り上げられて、〇〇県が1位で□□県が47位だと世間を賑わせているあれです。何の目的でどんな調査をするのかよくわからないまま、何位という都道府県の順位だけが話題になっていますよね。この際ですから是非目的や調査の内容についてご紹介したいと思います。

調査の目的 ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る

◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる

◇そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

調査対象 国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年

調査内容 ①教科に関する調査(国語、算数・数学)

主として「知識」に関する問題(A)

・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 など

主として「活用」に関する問題(B)

・知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力
・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 など

②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

＜児童生徒に対する調査＞

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

＜学校に対する調査＞

指導方法に関する取り組みや人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

時間割 1 国語A 2 国語B 3 数学A 4 数学B 5 生徒質問紙

4月12日(水)1校時の離任式

2年間担任としてお世話になった村上先生、石井先生、梅田先生、昨年の9月から英語の授業でお世話になった林先生の4人の先生方が転勤されました。とても名残惜しいですが、赴任された学校で活躍されることを祈念しましょう。

